



広報－ご家族皆さんでご覧ください－

ふたば



2

災害版No.9 2月号
2012



表紙写真：故郷を離れての成人式

平成24年2月1日発行 編集・発行 / 双葉町埼玉支所 秘書広報課



ご成人おめでとう ございます

**新たな門出を
祝いました**

1月8日、郡山ビューホテルアネックスにおいて平成24年双葉町成人式が挙行されました。今年は85人（男子38人、女子47人）が成人を迎えるました。

式に入る前に東日本大震災で犠牲になつた方々へ全員で黙祷を捧げ、第1部の式典では、全員で国歌と町民の歌を斉唱。続いて、井戸川克隆町長から男子代表、石澤拓也さん、女子代表、高野友美さんにそれぞれ成人証書が手渡されました。井戸川町長が「大震災を経験したことでの気づきを得たものを土台にして、さら

誓いのことば

平成24年の年頭にあたり、私たち新成人のために、このような盛大な式典を挙行していただき、誠にありがとうございます。

また、井戸川町長様を始め、たくさんのご来賓の方々からお祝いと励ましのことばをいただき、深く感謝申し上げます。

本日、新成人としてあらたに認められたことに対し、改めて責任の重大さを感じ、身の引き締まる思いでいっぱいです。

東日本大震災により家族、友人や地域の人とも離れ離れになつてしましましたが、生まれ育った双葉町をいつまでも忘れず、これまでに掛け合つた、温情を忘れることなく、自分たちのできることから少しづつではありますが、お返ししていきたいと思います。

まだまだ未熟な私たちですが、これからも皆さまの温かいご指導を心からお願ひ申し上げ、誓いのことばといたします。

第2部の「町長と語る会」は、

成人式実行委員会が主催し、町長、副町長、教育長を囲んでインタビュー形式により行われました。

自己紹介で雰囲気が和ら

いだ後、町政や教育などの色々な質問に対しして答えるなど、な

どやかな雰囲気で行われました。

さらに新成人を代表して、根本卓実さん、福田成美さんが誓いのことばを述べました。また、成人を迎えるにあたつての決意を発表する「はたちの夢」では、新成人を代表して4人の方々が東日本大震災を体験して気づいたことや将来の夢、近況などについて発表し、成人としての自覚を新たにしました。

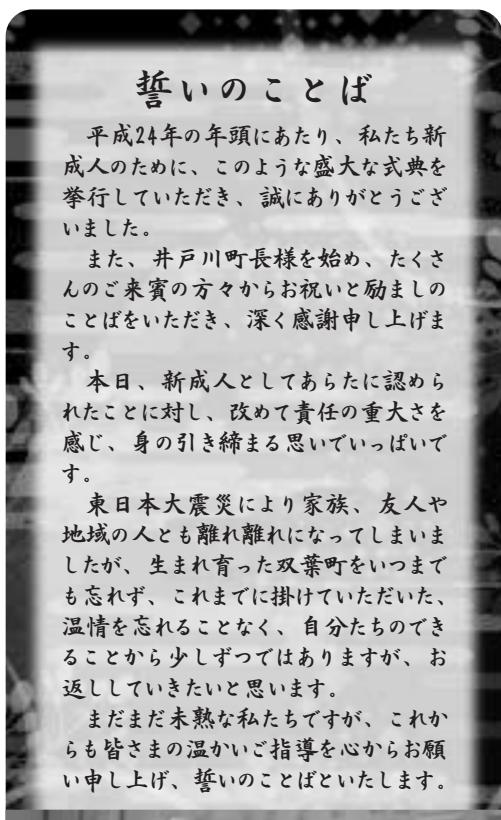
また、友好町である京都府京丹波町から平成16年に行われた瑞穂町との交流事業の際に撮られたビデオが贈られました。そ

して当時中学生として参加した

自分たちの映像が大きなスクリー

ンに映し出されると歓声が上が

り、笑顔があふれました。





井戸川貴章さん
(長塚二)

大きな被害を
からもうすぐ10
力月もの時が過ぎようとしています。

私もその震災を体験しましたが、そ
の中で親戚や全国の方々、そして外国
から多くの支援をしていただきまし
た。今までこのような形でお世話にな
るといった経験がほとんどなかったの
で、そのありがたさがとても身にしみ、
今までの生活がどれだけ素晴らしいか
たのか感じさせられました。この感謝
の気持ちを大切にし、誰かが困つてい
るようなときにはその支援に積極的に
参加したいと思っています。

さて私は、大学入学以来、さまざ
ままでの生活がどれだけ素晴らしいか
たのかを感じさせられました。この感謝
の気持ちを大切にし、誰かが困つてい
るようなときにはその支援に積極的に
参加したいと思っています。



只野 碧さん
(新山)

「光陰矢の如し」
私が歩んできた
20年間で、今日

ほどの言葉を強く実感した日はあり
ません。振り返れば数え切れないほど
たくさんの思い出があるはずなのにそ
れが一瞬にして通り過ぎてしまったか
のように思えるのが不思議です。同時
に、その思い出の一つひとつが、今
私を成長へと導いてくれたのだと気づ
き、とても愛しく思えてきます。

東日本大震災が発生して間もない頃、
私はその日一日を生きるために必死で、
将来の希望を失いかけていました。し
かし、「必ず来年の成人式を成功させ
よう」という仲間の呼びかけで、はつ



樋渡 麻衣さん
(長塚二)

日という良き日
に平成24年双葉
町成人式を開催できることを大変喜ば
しく思います。思えば、3月11日の東
日本大震災により私たちの町は地震、
津波、さらには福島第一原子力発電所
の事故という未曾有の災害を見舞われ
未だ帰れずという状況が続いています。
しかし、我々のような若い世代が希
望を持ち、いつか帰れると信じ、帰つ
た際には積極的に復興へ取り込むこと
がより早く町の再生へとつながると信じています。

はたちの夢



廣田 一希さん
(渡川)

私の夢は、教師になることです。教育の
現場にたつて社会に貢献し、震災を通して
学んだことを子どもたちへと伝えていくこ
とが、私の使命なのだろうと思っています。時
に故郷を恋しく感じることがありますが、
同じ志を持つ友人たちと切磋琢磨し合い、
「教育」とは何かを追及し続ける日々を過
ごしています。

いつの日か教壇に立ち、子どもたちと向
き合うその日まで、私は私を支えてくださ
る全ての方々に常に感謝の意を抱き、自分
の信じた道をまっすぐに進むことをここに
誓います。

私の夢は、また双葉町に帰つて以前
のように生活することです。昨年の
震災以来、仕事の関係で地元を離れ、
一人で生活しています。震災からもう
すぐ10ヶ月が経とうとしていますが、
度も福島のこと、双葉のことを忘れた

ことはありません。

双葉町は小さな町ですが、海、山、
川などたくさんの自然に囲まれていて、と
ても住みやすく大好きな町です。一瞬
にして奪われてしまった私たちの故郷
を取り戻すには、時間がかかるかもし
れませんが、必ず帰れるという希望を
捨てずにこれから的生活を送つていき
たいと思います。

二十歳の夢とはちょっと違うかもし
れませんが、双葉に帰ることが今の私
の夢です。

また、この夢を夢のままで終わらせ
たくないでの、何か自分もできること
があれば実行していきたいです。

最後に、このように私たちが無事成
人となるまで育て、ご指導してくださつ
た家族や先生方、地域の皆さま方には
感謝してもしきれない思いでいっぱい
です。これからは、お世話になった人々
に恩返しができるよう、立派な社会人
になれるよう日々まい進してまいりた
いと思います。

震災を経験して看護師がどうあるべき
か、ということについて色々考えさせ
られました。緊急という状況にも関わ
らず迅速にさまざまな患者さんへの処
置に対応する姿は私のあこがれていた
姿そのものでした。医療が周りへ与え
る影響はとても大きいものだと感じる
と同時に、私も将来自分が得た知識を
緊急の場へ活かせるような看護師にな
りたいと強く思いました。さらに、大
学院まで進学して専門看護師という
一般的の看護師よりさらに高度な医療行
為ができる看護師の資格を取りたいと
思います。

新成人者へ贈ることば

社会から必要とされる人材に
一町はあなたたちを必要としています！

双葉町長 **井戸川克隆**

二〇一二年、新成人となられた皆さん、おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

昨年3月11日、私たちを襲ったマグニチュード九・〇の地震と大津波の傷跡は深く大きいものがあり、復旧復興の道のりはかなり厳しいものがあります。さらに自然災害に加え、原子力発電所の炉心溶融による放射能汚染は、私たちを震撼させ続けており、十ヶ月が過ぎた今も帰ることができず不安と焦燥から一時も逃れられない日々を送っています。

このような中、「双葉町はどうなるの」「双葉町は再

生できますか」と幾度となく質問が投げかけられています。答えは、「町民の皆さんとともに英知を出し合い、必ず再生します」ということに尽きます。私たちには地震、津波、原発事故、この三重苦の中で気づき、得たものがあります。

ワールドカップでのなでしこジャパンの優勝、世界最速のスーパーコンピュータの開発などにもみられるように、スポーツやものづくりでも世界最高の水準を保っていますし、大震災から日本は力強く立ち直ろうとしています。

このような時だからこそ、成人を迎えた皆さん

は、「社会から必要とされる人材」として、自分に磨きをかけることが大事です。時を惜しんで多くを学び、経験を積み重ねてください。その努力に必ず良い報いが訪れます。

カーネギーの本を読みましょう。皆さんのこれから的人生の糧となるものがたくさん詰まっています。

希望に満ちたすばらしい人生

双葉町議会議長 **佐々木清一**

成人を迎えた85名の皆さんに町議会を代表して心よりお喜びとお祝いを申し上げます。

本来ですと、成人式は故郷のある双葉町の地において挙行されるところですが、このような形で執り行われることになってしまい本当に残念であります。

昨年の3月11日に発生した東日本大震災で大きな被害を受け、さらに東京電力福島第一原子力発電所の事故は、全町民が避難を余儀なくされる想像もつかないような事故になってしましました。あの日から十ヶ月が過ぎましたが、早く収束することを願うところです。

さて、私はお祝いの言葉として皆さんに「一期一会」という言葉を贈ります。これまで慈しまながら育ててくれたご両親をはじめ、家族の愛情、社会に出てからも自分の道を迷うことなく、しっかりと前に進めるができるよう勉

学に指導してくださった恩師、苦しいとき、悲しいとき、一緒に泣いたり笑つたりしてくれた友人、そんな多くの人たちの一期一会が今の皆さんの中の晴れ姿であるということを忘れてはなりません。

これから的人生良いことばかりではありません。進む道に不安になつたり、くじけそうになつたりすることもあるかもしれません。そのような時このことを思い出してください。そして、希望に満ちたすばらしい人生を送つてください。

今、私たちは故郷に帰ることができません。いつの日か皆さんに双葉町の復興にお力を借りてください。

彼も人なり、我も人なり

双葉町教育委員長 **岡村 隆夫**

りするようになるでしょう。ぜひ力を貸してください。

終わりに成人を迎えた皆さんに一人ひとりが将来に向けて希望が達成できること、あわせて今後のご活躍、ご健勝をお祈りいたします。

成人の日を迎えた皆さん、誠におめでとうございます。若さあふれる皆さんを、社会の新しい担い手としてお迎えすることができたことを心から祝福したいと存じます。

皆さんは今、それぞれ自分の将来について大きな希望を持ち、胸ふくらむ思いであります。そのような皆さんの今後の活躍に大きな期待を寄せております。

しかし、昨年3月11日の東日本大震災と原子力発電所の放射能漏れ事故にて、東北はもちろん、日本にとつても大変な災害に遭いました。特に皆さんのがふる里は、元の姿に戻れる日はまだ、そして今はまったく見えてきませんが、このことは福島いや日本にとって新しい時代に変わる時もあるのです、と考えられます。その新しい時代のふる里、そして日本を創るため、皆さんのような若い人が必要であります。

皆さんは、これから主権者となつて公の使命を担われ、与えられた権利と課せられた義務の中、的確な判断、たくましい実践力を培つて、社会のため、そして皆さん一人ひとりが健康に恵まれ、より豊かな人生を送ることができます

ようお祈りいたします。

お礼のことば

本日は、私たちのためにこのような式を開いていただき、誠にありがとうございます。

まず初めに遠方よりおいでいただきましたご来賓の方々へ感謝を申し上げます。そして私たちの希望である福島県内の式を挙げられたことに対し、双葉町役場の方々、この会場を貸してくださった郡山ビューホテルアネックスの方々に深く感謝申し上げます。

私たちは双葉町を離れ、もうすぐ一年になりますとしていますが、この一年の中で改めて家族や親戚をはじめ、友人や地域の方々、学校や会社の先輩など本当に数多くの方々に支えられていることを実感しました。

また、町全体としても避難中にお世話になつた川俣町の方々や現在もお世話になつて加須市をはじめとする埼玉県の皆さんへ私たちからも感謝申し上げます。

そして、今まで一番お世話になつてきた両親へ少しだけ個人的な話をさせていただきます。私の母は体が不自由なこともあります、「母親らしいことができなかつた」と言つたことがあります。でも私は、本当に心の支えになつてもらつたと感じています。父は今まで普通の親子と比べるとほとんど会話することがなく、最近では「たまに父親らしいことをさせろ」と言つています。しかし私は、一度も父親らしくないと思つたことがありません。本当にやりたいことをやらせてもらいました。本当に両親に恵まれていると思います。今まで何度も感謝する機会はありましたがあが、成人

となつた今だからこそ言える話なんだと思ひます。それは私だけではなく、ここにいる何人かも同じような気持ちだと思います。

最後になりますが、これから私たちは、長い先を見据えた気の遠くなるような状況の中で生活していくようになると思います。ここで生活していくようになると思います。ここにいる私たちも一人ひとり想いがあります。この震災で家族を失つてしまつた人、家を津波で失つてしまつた人、「双葉町に絶対帰りたい」という人、「戻りたいけど諦めたい」という人、さまざま的人がいますが、それぞれの方向でみんなが下を向くことなく、前を向いて進んでいくことができればと願っています。そして、双葉町全体が前を向いてさらには復興へ向かっていくことを願つて感謝のことばといたします。

平成二十四年一月八日

成人者代表 伊澤慶昭



多くの祝福を受け 新たな人生を歩み出す



▲全員で黙祷



◆国歌、町民の歌斉唱



▲新成人を代表して石澤拓也さん、高野友美さんに成人証書

平成24年 双葉町成人式

華やかな振袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人の皆さんには、大人になった喜びと懐かしい友達との再会に明るい笑顔を浮かべながら、人生の節目となる大切な日を楽しみました。



埼玉県越谷市にお住まいで、日本伝統水引工芸研究会総師範の江坂冴水さんから、男性には水引で作った赤いコサージュ、女性には色とりどりの髪飾りや帯飾りが成人者全員に贈られ、会場で配されました。



新成人の生まれた年はこんな年でした

平成3年4月2日～平成4年4月1日

○主な出来事

- ・湾岸戦争勃発
- ・ソビエト連邦崩壊
- ・雲仙岳・普賢岳で大規模火碎流が発生
- ・秋篠宮紀子様長女出産
- ・横綱千代の富士が引退
- ・貴花田史上最年少で優勝

○流行

- ・流行語大賞はチャーリー浜さんの「…じゃあ～りませんか」
- ・バブルの象徴として取り上げられるディスコ「ジュリアナ東京」がオープン。
- ・「東京ラブストーリー」や「101回目のプロポーズ」などトレンドドラマが人気。





笑顔で再会



20



▲第2部の司会をする実行委員



▲恩師を囲んで記念写真



町民の皆さんへ

新しい年を迎える、町民の皆さんには、どのようなお正月を過ごされたでしょうか。例年ですと元日には、家族そろって双葉の海岸に出かけ、初日に向かって両手を合わせ、無病息災、一年が素晴らしい年になるよう祈願したのではないでしようか。

しかし、今年は、長期にわたる避難生活で身も心も疲労が極限に達している中、追い打ちをかけるように

年明け早々、国から除染で生じる土壤などを保管する中間貯蔵施設を双葉郡内に設置したいという要請がありました。それも中間貯蔵施設の候補地として大熊、双葉両町の周辺を軸に検討したいということでありま

す。事前の説明もなく、あまりにも唐突な話であり、必ず双葉町に戻れるという私たちの期待をも奪い去ります。事前の説明もなく、あまりにも

永久に故郷、双葉町を失う危機に立たされています。そして、今や原発事故による避難のため、弱者となつた双葉郡内の人を平気で切り捨てるようなやり方に強い憤りを覚えてな

りません。このような状況に鑑み、今後も中間貯蔵施設の設置には、町

民の皆さまの意見を聞きながら慎重に対応してまいりたいと考えています。

双葉町長 井戸川克隆

このように年の始めから私たちの心を痛める状況が続いていますが、今年も成人式を執り行いました。全国各地に避難されているにもかかわらず、64名の方が集い、厳粛の中にも和やかな雰囲気の中で式典が挙行されました。故郷を離れての成人式でしたが新成人一人ひとりの表情から双葉町を愛してやまない心を感じることができました。そして、これから双葉町を支え、復興・再生の原動力となるのは、若い人のエネルギーと柔軟な発想力であることを強く感じた次第であります。

どうか町民の皆さん、若い人たちと一緒に、笑顔あふれる元気な双葉町と一緒に創っていきましょう。



▲1月4日、埼玉支所の仕事始めの式でダルマに目を入れる井戸川町長

警戒区域への一時立入り[三巡目]の実施について

第1回目は**2月12日(日)**の予定です。

各世帯1回、マイカー方式・バス方式で制限時間内の実施となります。対象者は意向確認を集計、調整のうえお知らせします。

ア、2t トラックまでの車が使用できます。

イ、家屋の修繕業者や引っ越し業者の帶同が可能です。

ただし、1世帯につき業者車両1台のみの帶同となります。

ウ、お墓参り等、自宅以外の場所への立ち寄りも可能です。

※イ、ウについては、事前の登録が必要になります。

【問い合わせ先】双葉町総合受付コールセンター
☎ 0120-455-770

教育委員に大久保敏巳さんを任命

双葉町教育委員会委員に大久保敏巳さん（山田：現在いわき市居住）が任命されました。

大久保さんは、「避難中の子どもたちの教育のために全力で頑張ります」と抱負を述べられました。

任期は、平成23年10月1日から平成27年9月30日までの4年間となります。



全国一斉 法務局 休日 相談所

法務局職員等がご相談をお受けします。ご相談は無料で秘密は厳守いたします。

- ・相談日…**2月12日(日)**
 - ・受付時間…午前10時から午後3時まで
 - ・場 所
(福島地区)福島地方法務局3F共用会議室及び
エスパル福島5階ネクストホール
(郡山地区)福島地方法務局相馬支局
(白河地区)福島地方法務局白河支局
(会津地区)福島地方法務局若松支局
(いわき地区)福島地方法務局いわき支局
 - ・電話相談…フリーダイヤル **0120(227)746**
- 【問い合わせ先】福島地方法務局総務課
☎ 024-534-1941

県民健康調査『基本調査(問診票)』ご回答のお願い

県では、今回の震災や原発事故を踏まえ、県民の健康を長期にわたって見守っていくこととして、現在、県民健康管理調査を行っております。

『基本調査』は、今後の県民の皆さまの健康を見守っていく第一歩となる非常に重要な調査です。

《「基本調査」の目的、重要性》

○放射線の健康に与える影響は、被ばくした放射線量の大きさに左右されます。

○そのため『基本調査(問診票)』では、皆さまの「いつ」「どこに」「どのくらいいたか」「どのように移動したか」などの行動記録から、7月11日までの4か月間の、受けた放射線被ばく線量を推計します。
この時期の外部被ばく線量を推計する唯一の方法です。

○基本調査は、甲状腺検査等の詳細調査と表裏一体のものであり、基本調査による線量推計は、甲状腺検査等詳細調査における分析において重要なものです。

○推計結果は、皆さまにお知らせし、今後の長期にわたって健康を見守っていく基礎資料となります。

今後の検査に係る「お知らせ」を確実にお届けするためには住所(居所)の確認が必要になりますが、基本調査はそのためにも重要なものです。

まだ、ご家族や友人など、周囲の方で問診票のご回答をされていない方がいらっしゃいましたら、上記の目的や重要性をお伝えいただきますようお願いします。

【問い合わせ先】福島県立医科大学 県民健康管理調査事務局
☎ 024-549-5130 (午前9時~午後5時)

《参考；よくある質問》

Q どうしても思い出せない場合には、どうすればいい?

A わかる範囲で記入して下さい。同封した「主な出来事カレンダー」や日記やスケジュール、勤務記録、携帯電話やパソコンのメール、家計簿や震災当時の買い物等の履歴等を確認してみてください。思い出せないときは空白ではなく「忘れて書けない」と記入して下さい。

Q 設問2と設問3は同じ内容なのに書き方が異なるのはなぜ?

A 3月25日までは、放射線量が上下した期間であり、「屋外」にいた時間など、より詳細な記録が重要になります。「移動」の欄があるのもこのためです。

Q 「車中泊」していたときは屋内?屋外?

A 「屋外」の欄に記入して下さい。

Q 食べ物まで記入するのか?

A 記入していただくのは、自分の畠や果樹園、家庭菜園等でつくられた作物についてで、お店等で購入したものは対象外です。

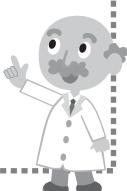
Q この問診内容でどうやって被ばく線量を推計するのか?

A 当時の行動記録と放射線の想定データを重ね合わせて推計します。

冬の運動不足に注意しましょう

寒い冬は外出がつい億劫になり運動不足になります。身体を動かす機会がないと、骨や筋肉が衰えてしまいます。骨や筋肉が衰えると「立つ」「歩く」などの動作が困難になり、要介護や寝たきりのリスクが高くなります。

また、「動かない」状態が続くことにより、心身の機能が低下して「動けなくなる」生活不活発病の危険があります。ちょっとした運動をしたり、地域の集会所などに出かけてみてはいかがでしょうか。



申込期限 3/19まで 生活必需品の申し込みはお済みですか

町では、応急仮設住宅や県の借上げ住宅、特例借上げ住宅に入居された方、県内外の親類宅やアパート等に避難されている方に、災害救助法に基づく生活必需品及び「NPO難民を助ける会」様から生活支援物資を給付しています。

なお、申込期限を3月19日(月)まで延長いたしましたので、まだ申し込みがお済みでない方は、忘れずにお申し込みください。

(※すでに受け取られている方は除きます)

1. 給付する生活必需品(主なもの)

- | | |
|------------|---|
| 世帯用 | ・衛生用品(シャンプー、石けん、トイレットペーパー等)
・台所用品(両手鍋、フライパン、まな板、包丁等)
・入浴用品(イス、洗面器、バスマット等)
・掃除洗濯用品(物干し竿、ハンガー、ほうき・ちりとり等)
・その他(カラーボックス、収納ケース、こたつ、掃除機等) |
| 個人用 | ・寝具(布団、カバー、タオルケット、シーツ)
・食器類(茶碗、おわん、深皿、コップ)　・その他(タオル、歯磨きセット) |

2. 申込手続きについて

申込書に必要事項を記入のうえ、郵送又はFAXで申し込んでください。

3. 問い合わせ先

埼玉支所 産業振興課 商工観光係

☎ 0480-73-6938 FAX 0480-73-6926

町県民税申告・所得税確定申告

◎日程：2月16日(木)から3月15日(木)まで



東日本大地震等の発生により、平成22年分の所得税や個人事業者の消費税をはじめ、平成23年3月11日以降に到来する全ての国税の申告・納付等の期限が延長されています。

町県民税申告や所得税確定申告は、平成24年度の町県民税を正しく算定する基礎となるほか、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の算定や各種福祉施策などの資料となるなど重要な手続きです。

町県民税申告受付と所得税確定申告相談を**下記**の日程で行いますが、3月16日以降も随時受け付けます。

また、最寄りの税務署でも申告の受付ができます。

(申告日程)

日	時	会場
平成24年2月16日(木)～平成24年3月15日(木) 午前9時から午後4時まで ただし、土、日曜日、祝祭日を除く。		双葉町役場福島支所（2階会議室） 双葉町役場埼玉支所（2階会議室）

申告対象者

平成24年1月1日現在、双葉町に住民登録されている方、原則的に所得の有無にかかわらず町県民税の申告又は確定申告をしなければなりませんが、申告が不要な場合もあります。

◎申告が不要な場合

給与収入で年末調整が済んでいるとき。扶養家族となっている場合。年金収入が400万円以下でその他の所得が20万円以下の場合。

申告相談受付に必要なもの

【所得に関するもの】

- 給与や年金の収入がある方…源泉徴収票・支払明細書など
- 事業・不動産所得がある方…収支内訳書など収入や経費がわかる各種帳簿及び領収書など
- 農業所得がある方…農産物出荷証明書、収支内訳書など収入や経費がわかる各種帳簿及び領収書
- 一時所得（生命保険満期返戻金など）・配当所得（株式の配当など）がある方…支払明細書など
- 雑所得（シルバー人材センター配分金・個人年金など）がある方…支払明細書など
- 譲渡所得（土地・家屋などの売買）がある方…売買契約書など

【所得控除に関するもの】

- 社会保険料控除を受ける方…平成23年中に支払った国民健康保険税、介護保険料などの領収書、国民年金保険料の証明書
- 生命保険料、地震保険料控除を受ける方…控除証明書
- 医療費控除を受ける方…領収書（受診者別に医療機関別にわけて支払額を計算し持参してください）、医療費を補てんする保険金等の明細書
- 障害者控除を受ける方…身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳など
- 住宅借入金等特別控除を受ける方…住民票の写し、登記事項証明書、売買契約書または請負契約書（家屋の取得年月日、床面積、取得価格を明らかにする書類）、住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書

【その他】

- 印鑑等（所得税の口座振替納付を希望される方は、金融機関名、口座番号、届出印鑑）

税務署からのお知らせ

◎所得税の還付・軽減免除について（雑損控除など）

東日本大震災により住宅や家財・車両などに被害を受けられた方は、確定申告（雑損控除）又は更正の請求等の手続きをすることにより、既に納付した又は源泉徴収された所得税額が還付されたり、軽減・免除される場合があります。なお、申告期限が延長されている場合であっても、サラリーマンや年金所得者の方で所得税の還付申告をされる場合などは、申告書を提出することができます。

◎申告・納税期限の延長等について

双葉町民の皆さまについては、平成22年分の所得税や個人事業者の消費税をはじめ、平成23年3月11日以降の期限が到来するすべての国税の申告・納付等の期限が延長されています。

なお、期日が指定された場合については、町広報紙や国税庁ホームページ等お知らせいたします。

また、平成23年分の確定申告用紙はお送りしておりませんのでご了承ください。

◎確定申告会場を開設します

申告書の受付や記載方法などのアドバイスを行う確定申告会場を設けます。所得税（譲渡所得を含む）・消費税（個人事業者）・贈与税の申告が必要な方、税金の還付を受ける方など、確定申告されるすべての方が利用できます。

税務署には、申告書作成会場を設けませんので、こちらの会場を利用してください。

■開設期間 平成24年2月1日（水）～3月15日（木）

※ただし土、日曜日及び祝日を除きます。

■開設時間 午前9時～午後4時

■開設場所 相馬市振興ビル6階



◎お問い合わせ先等

各種申告手続き、確定申告書等の用紙の請求、その他国税に関するご相談のある方は福島県内はじめ全国の税務署で受け付けておりますので、最寄りの税務署までご連絡ください。

税務署名	所在地	電話番号
相馬税務署	〒976-8602 相馬市中村字曲田92-2	0244-36-3111
福島税務署	〒960-8620 福島市森合町16-6	024-534-3121
会津若松税務署	〒965-8686 会津若松市城前1-82	0242-27-4311
郡山税務署	〒963-8655 郡山市堂前町20-11	024-932-2041
いわき税務署	〒970-8611 いわき市平字菱川町6-3	0246-23-2141
白河税務署	〒961-8611 白河市中田5-1	0248-22-7111
須賀川税務署	〒962-0844 須賀川市東町59-25 須賀川商工会館内	0248-75-2194
喜多方税務署	〒966-0833 喜多方市字中島7513-3	0241-24-5050
二本松税務署	〒964-0911 二本松市龜谷1-29	0243-22-1192
田島税務署	〒967-0004 南会津郡南会津町田島字寺前甲2939-2	0241-62-1230

確定申告の相談や申告に必要な書類などは、相馬税務署または町税務課までお気軽にお問い合わせください。

[問い合わせ先] 相馬税務署 ☎ 0244-36-3111 双葉町役場埼玉支所 ☎ 0480-73-7686
双葉町役場福島支所 ☎ 024-973-8090

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りやメールの一部をご紹介いたします

双葉の風だより



いろいろとお世話いただきありがとうございます。
先日は救援物資が届きました。たくさんなので驚いています。さっそく使わせていただいています。

私はですが何とか元気に過ごしております。一日も早く双葉町に帰られるよう願いつつ

今年も余すところ数日となりました。例年のような暮れとは異なる日々を過ごしております。

本日は心のこもった品をお送りいただき本当にありがとうございました。落ち着かない日々でお正月を迎える気分になれませんでしたが、お正月に迎接なならないお餅や健康に必要な品々等を細やかな配慮をいただきまして、新しい年に向けて歩む勇気をいただきました。心より感謝申し上げます。

いつもお世話をまです。年末にはお米やお餅をありがとうございました。今年のお正月はお皿や調理器具も少なく、おせちを作る気分ではなかつたのですが、いだいたお餅でお雑煮を作つておいしくいただきました。皆様もお忙しいとは思いますが、お体に気をつけてください。

大関 悅子

いろいろとお世話いただきありがとうございます。
前略

今年も余すところ数日となりました。例年のような暮れとは異なる日々を過ごしております。

本日は心のこもった品をお送りいただき本当にありがとうございました。落ち着かない日々でお正月を迎える気分になれませんでしたが、お正月に迎接な暮らしには異なる日々を過ごしております。

本日は心のこもった品をお送りいただき本当にありがとうございました。落ち着かない日々でお正月を迎える気分になれませんでしたが、お正月に迎接な暮らしには異なる日々を過ごしております。

本日は心のこもった品をお送りいただき本当にありがとうございました。落ち着かない日々でお正月を迎える気分になれませんでしたが、お正月に迎接な暮らしには異なる日々を過ごしております。

泉田 君子

いろいろとお世話いただきありがとうございます。
先日は救援物資が届きました。たくさんなので驚いています。さっそく使わせていただいています。

私はですが何とか元気に過ごしております。一日も早く双葉町に帰られるよう願いつつ

今年も余すところ数日となりました。例年のような暮れとは異なる日々を過ごしております。

本日は心のこもった品をお送りいただき本当にありがとうございました。落ち着かない日々でお正月を迎える気分になれませんでしたが、お正月に迎接な暮らしには異なる日々を過ごしております。

渡部 寿子

大震災避難中でのお仕事ご苦労様です。住居は全國ばらばらですが、せめて心だけは一つにまとまつてほしいものです。双葉町が生き残れるように町民が頼りにしているのは皆さんです。どうか双葉という字が無くならないように、そして、どのような条件であつても町民が一緒に生活できるようになんばつてください。

西内 隆夫

大きな箱が突然届きました。中からそれは色々なものが入つて玉手箱のようです。びっくりしました。あの日以来本当に毎日大変な日々をお送りのことですかにお忙しい中ありがとうございます。ありがたくていただきます。

できる限りご自分のお体をご自愛くださいますようお願いいたします。ありがとうございます。

吉沢 房子

本日（12月21日）宅配便にて支援物資受領いたしました。ありがとうございます。年末の多忙の折、配送の準備等大変お手数であつたろうなあとお察し申し上げます。新聞紙上では、避難者への支援のニュースは仮設の方々でありました。今回借り上げ住宅の入居者へのご配慮をいただきホッとしております（忘れられているのではと内心思つておりました）

寒風吹きすさぶ日が多くなりました。一層のご愛とご活躍のほどお祈り申し上げます。

本日はありがとうございました。

本田 勇

寒い知らない街にジングルベルの曲が流れ、何もなかつたように人々の流れが悲しく思います。寒くなりましたね。双葉の町より寒い気がします。

本日は温かい心のこもった品々をお送りいただきましてありがとうございます。お米もお餅も用意しようと思つておりますので、本当にうれしいです。夫が入院しておりますので、タオルケットうれしいです。

皆さまも忙しいところを色々と心くばり本当にありがとうございます。

本年もあと数日、来年こそは希望の持てる佳い年になりますようにお祈り申し上げつつ、御礼といたします。

寒さ厳しき折、皆々様お体に気をつけてくださいませ。元気にがんばりましょうね。三浦 馨、登美子

宅配便届きました

ありがとうございます。暮れになってお餅やお米、その他色々入っていてとてもうれしく感謝いたします。渡部小百合

広報ふたばでは皆さんからのお便りをお待ちしています

避難先での出来事や近況、町民の皆さんに伝えたいこと、双葉町への思いなどを広報ふたばをとおしてお知らせしたいと思います。秘書広報課までお寄せください。

感謝

本日、12月21日ダンボール1個分の生活必需品が郵送されてきました。お米やお餅、レトルト食品などをいただき、感謝しています。妻とともに役場の皆さまの温かいご配慮をうれしく思っています。関係者の皆さまによろしくお伝えください

高瀬 勝正、晴子

ありがとうございます

今、宅配便で米や色々と届きました。何の前触れもなく…突然の到着にびっくりしたのと同時に大変うれしく思いました。今年は餅なんて買ってくわねーぞ！などと思っていたが、正月を迎えるために揃え送っていたいだいたように感じられ、40過ぎの男が思わず涙してしまいました。

役場の皆さまは色々とお忙しいことと思います。何もお手伝いできずに大変申し訳ありません。ありがとうございました。取り急ぎ御礼まで

城所 敬雄

仮設住宅への入居者募集(継続)

1. 募集物件

地区	間取り	募集戸数	住 所
福島市	1K	8戸	飯坂町平野字内小原田8-1
	2K	30戸	
	3K	20戸	
	計	58戸	
郡山市	1K	5戸	喜久田町早稲原字上ノ端54-4
	2K	22戸	
	3K	5戸	
	計	32戸	
日和田町	1K	12戸	日和田町高倉字諏訪前82
	2K	56戸	
	3K	41戸	
	計	109戸	
白河市	1K	13戸	郭内151
	2K	35戸	
	3K	22戸	
	計	70戸	
いわき市	1DK	8戸	南台3丁目1-1
	2DK	15戸	
	計	23戸	

2. 募集締切 当分の間受付をします。

窓口受付時間：午前9時から午後5時まで

3. 応募方法

双葉町仮設住宅入居申請（抽選申込）書に必要事項を記入の上、双葉町役場へお申し込みください。直接お越しになれない場合は、申請書をファックスまたは郵送にてお申し込みください。

※被災証明または罹災証明の写しを付けてお申し込みください。

※お電話、Eメールでの申請は受け付けできません。

4. 入居時期 入居決定次第順次入居可能

5. 入居期間

原則として1年間、ただし、特別な事情がある場合のみ最長2年間

6. その他

各地区にペット飼育可能な区間を一部設けますが、規定数に達した場合は、受け付け終了となります。

※住宅の家賃は無料です。駐車場は1世帯1台です。

※エアコン、ガスコンロ、テレビ、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、洗濯機、ポットは備えてあります。

※光熱水費、電話料、食費などの必要経費は入居者の負担となります。

【問い合わせ先】福島支所 ☎024-973-8090

つくば連絡所ができました

茨城県つくば市及びつくば市周辺に避難、居住している双葉町民の生活状況等の確認や財務省、つくば市、関東財務局水戸財務事務所との連絡調整、各種相談等に応じるため、つくば連絡所を設置しました。

緊急雇用創出基金事業を活用して4人の臨時職員を配置し、住民票や印鑑証明の申請取次ぎのほか、つくば住宅団地内の環境整備及び安全確認パトロール等も行っています。

【問い合わせ先】茨城県つくば市並木3丁目1住宅551

☎080-2815-8593



つくば市内国家公務員宿舎 募集案内

1. 入居費用

- ①家賃及び駐車料金は無償です。
- ②家賃以外の次の費用は入居者負担となります。
(光熱水費、電話料、共益費、その他、宿舎ごとに必要となる諸費用)
- ③退去の際は、原状回復の必要があります（費用は入居者負担）

2. 入居期間 2年間

3. 住居の種類

- ①単身型の集合住宅（1LK程度）
- ②世帯方の集合住宅（3LDK程度）
- ③戸建て住宅（4LDK程度）

【問い合わせ先】茨城県災害対策本部・福島支援班

☎ 029-301-5977 FAX 029-301-2887



2012就職フェアinあいづ開催

開催日時：2月15日（水）午後1時～4時

開催場所：アピオスペース展示ホール

同時開催 震災特別相談会

開催場所：アピオスペース大会議室

- ①市町村相談コーナーでのご相談

当時は、大熊町、浪江町、富岡町、双葉町役場の担当者による相談窓口を設置します。

- ②職業のご相談

- ③年金・社会保険のご相談

- ④職業訓練のご相談

- ⑤メンタルヘルスのご相談

【問い合わせ先】ハローワーク会津若松

震災特別相談窓口 ☎ 0242-26-3444

ぼくの夢・わたしの夢



双葉北小学校 6年 **板倉 美桜**さん
(現在:埼玉県加須市立騎西小学校)

私の将来の夢は、トリマーになることです。

トリマーというのは、犬や猫の毛のシャンプー、カットや爪切り、耳掃除、健康チェックなどの一連の作業を行う仕事です。

トリマーになろうと思った理由は、私の家では犬や猫を飼っていて、お母さんが自動的に犬のカットなどをしている姿を見ていると、私もお母さんのように犬や猫をかわいらしくカットしたりきれいにしてあげたいので、トリマーになろうと思いました。

トリマーは動物の気持ちを読み取りながらする仕事なので、私は、誰にでもやさしくできる人になりたいです。

昨年は東日本大震災があり、不幸になった動物がたくさんいました。トリマーをしながら私ができることは、協力できるようにがんばりたいです。

国内外の皆さんから千羽鶴や絵手紙、激励のお言葉などをいただいています



▲12月21日、双葉町民と井戸川克隆町長宛にみごとなコチョウランが旧騎西高校に届きました。贈り主の欄には手書きで「いわきサンタクロースより」とあり、住所や連絡先は書かれていませんでした。井戸川町長は「多くの方々に見守られているのだ、と心が救われる思いです」と話していました。



もうすぐお姉ちゃんになります。

▲夢乃ちゃんは現在、埼玉県さいたま市にお住まいです。

双葉町民の避難状況

(平成24年1月6日現在)

- ・福島県内に避難されている方 3,389人
- ・福島県外に避難されている方 3,639人

お願い

埼玉支所に電話をかける方が、番号を間違えて個人のお宅にかけてしまい、間違った電話が頻繁にかかるので迷惑しているとの苦情が寄せられています。電話をかける際には番号をよくお確かめのうえおかけください。

双葉町では、町民の皆さまの**所在の把握**を行っています。これまで滞在されていた場所から移動された場合や仮設住宅等に移られた場合もご連絡をお願いいたします。

○総合受付 コールセンター 0120-455-770

埼玉支所 〒347-0105

埼玉県加須市騎西598-1 旧騎西高校内

☎ 0480-73-6880 FAX 0480-73-6926

✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

福島支所

〒963-8024

福島県郡山市朝日一丁目20番2号

☎ 024-973-8090 FAX 024-933-5120

✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

連絡先

○双葉町公式 臨時サイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/>
ホームページ 臨時モバイルサイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/mobile/>